

しまねの河川と海岸だより

(2023年)

令和5年7月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

◆ 7月8日からの大雨について	河川課 企画調査係
◆ 「昭和58年7月豪雨」から40年	河川課 企画調査係
◆ 水草・藻刈り始めました！@松江堀川	河川課 企画調査係 松江市河川課管理係
◆ 平田保育所にて防災について出前講座を実施しました	河川課 防災係
◆ 海ごみについて出前講座を行いました！	廃棄物対策課 処理推進係
◆ 第45回「全日本中学生水の作文コンクール」の結果について	河川課 管理係



7月8日からの大雨について

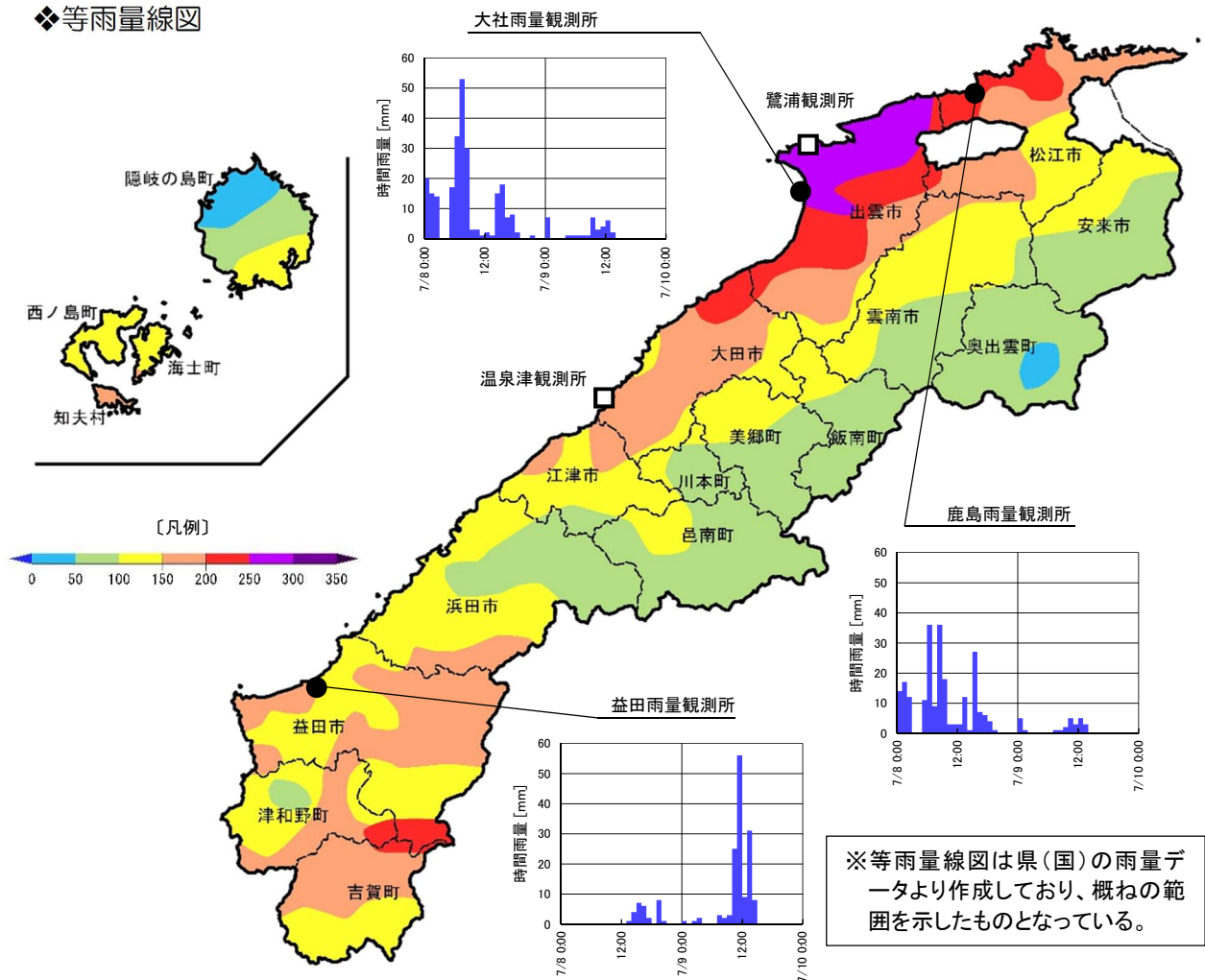
河川課 企画調査係

島根県では、7月8日からの梅雨前線の影響により、記録的な大雨になりました。島根県東部では非常に激しい雨が降り続き、8日朝には線状降水帯が発生しました。気象庁は「顕著な大雨に関する島根県気象情報」を東部に発表しました。今回の大雨により多くの被災が確認されており、一日でも早い復旧・復興に向け、全力で取り組んでまいります。

1. 降雨等の状況

7月8日0:00～7月9日24:00の2日間の総雨量は、大社雨量観測所で278mmを超えるなど、島根県東部を中心に200mmを超える降雨となりました。

◆等雨量線図



※等雨量線図は県(国)の雨量データより作成しており、概ねの範囲を示したものとなっている。

◆主な雨量観測所

鹿島観測所	松江市	2日雨量	246 mm	60分最大雨量	40 mm
大社観測所	出雲市	2日雨量	278 mm	60分最大雨量	59 mm
益田観測所 (国交省)	益田市	2日雨量	170 mm	60分最大雨量	56 mm

◆その他

2日雨量が最も大きい観測所	鷺浦観測所(出雲市)	288 mm
60分最大雨量が最も大きい観測所	温泉津観測所(大田市)	62 mm

2. 被害状況

今回の大雨に関連した住家被害は全県で 85 戸あり、その内訳は表のとおりでした（7 月 24 日 15:30 時点）。

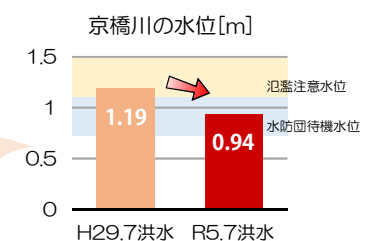
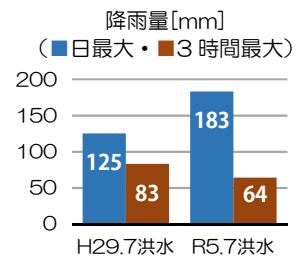
全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
0	1	4	8	72

島根県東部を中心に河川が氾濫し、家屋浸水や道路の冠水などが発生しました。



3. 河川改修の効果

松江市街地では、^{かみおいこがわ}上追子川排水機場ポンプ増設や^{なかがわ}中川での河道改修により、家屋浸水の防止に一定の効果が見られました。引き続き、県管理河川において治水機能向上に努めていきます。



松江市街地の内水氾濫に効果を発揮
 稼働時間 **21** 時間
 排水量 約 **680,000** m³
 (50 m プール約 **272** 杯分)

河川改修等により、平成 29 年(2017 年)7 月の大雨に比べ、水位が低下しました。

「昭和 58 年 7 月豪雨」から 40 年

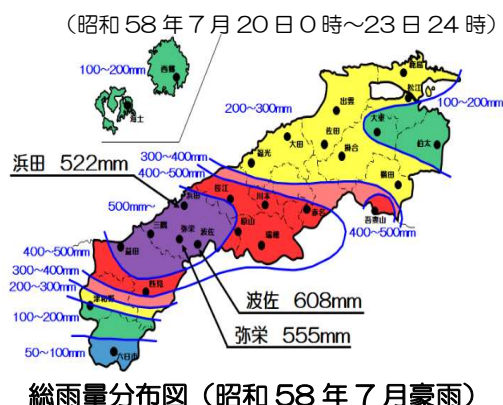
河川課 企画調査係

令和 5 年（2023 年）7 月で島根県災害史上最大級の被害をもたらした「昭和 58 年（1983 年）7 月豪雨」から 40 年となります。今月号では、当時の被災状況を振り返り、被災後の復旧事業などについて紹介します。

1. 昭和 58 年 7 月豪雨の被災状況

（1）降雨状況^{1) 2)}

梅雨前線の活動が活発となり、昭和 58 年 7 月 20 日から 23 日にかけて県西部を中心に総降水量 600 mm 以上を観測する大雨となりました。特に 22 日夜から 23 日朝にかけては、波佐観測所では 23 日 23 時までの 24 時間で 344 mm、浜田観測所では 23 日 1 時 40 分までの 1 時間で 91.0 mm を観測するなど、猛烈な雨となりました。



（2）被害状況^{1) 2)}

三隅川水系、益田川水系などの中小河川で堤防の決壊が各所で発生するなど、県西部を中心に甚大な被害が発生し、昭和 58 年 7 月豪雨^{※1}は、人的被害 266 人、住家被害 17,600 棟、総被害額 4,040 億円となる戦後最大の被害となりました。

被災状況（昭和 58 年 7 月豪雨）

項目	内容	県全体	浜田市 ^{※2}	益田市 ^{※2}	三隅町 ^{※2}	その他市町村 ^{※2}
人的被害	死者・行方不明者	107 人	22 人	32 人	33 人	20 人
	重軽傷者	159 人	17 人	67 人	33 人	42 人
	合計	266 人	39 人	99 人	66 人	62 人
住家被害	全壊（流失含む）	1,064 棟	62 棟	306 棟	541 棟	155 棟
	半壊・一部破壊	2,540 棟	202 棟	1,469 棟	363 棟	506 棟
	床上浸水	6,953 棟	1,291 棟	3,724 棟	623 棟	1,315 棟
	床下浸水	7,043 棟	2,664 棟	1,423 棟	345 棟	2,611 棟
	合計	17,600 棟	4,219 棟	6,922 棟	1,872 棟	4,587 棟
被害額	総被害額	4,020 億円	222 億円	828 億円	570 億円	2,400 億円



三隅川出水状況



益田川出水状況

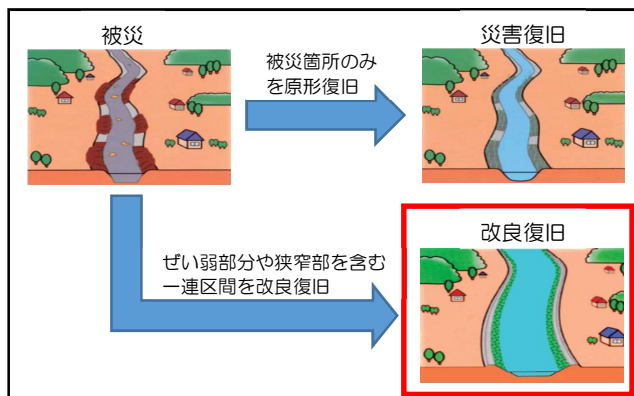
※1 気象庁は、顕著な災害を起こした自然現象について名称を定めている。島根県では、昭和 58 年 7 月豪雨の他に、昭和 47 年（1972 年）7 月豪雨、平成 18 年（2006 年）7 月豪雨、平成 30 年（2018 年）7 月豪雨などがあり、いずれも大きな被害が発生している。

※2 昭和 58 年時点の市町村

2. 昭和 58 年 7 月豪雨からの復旧

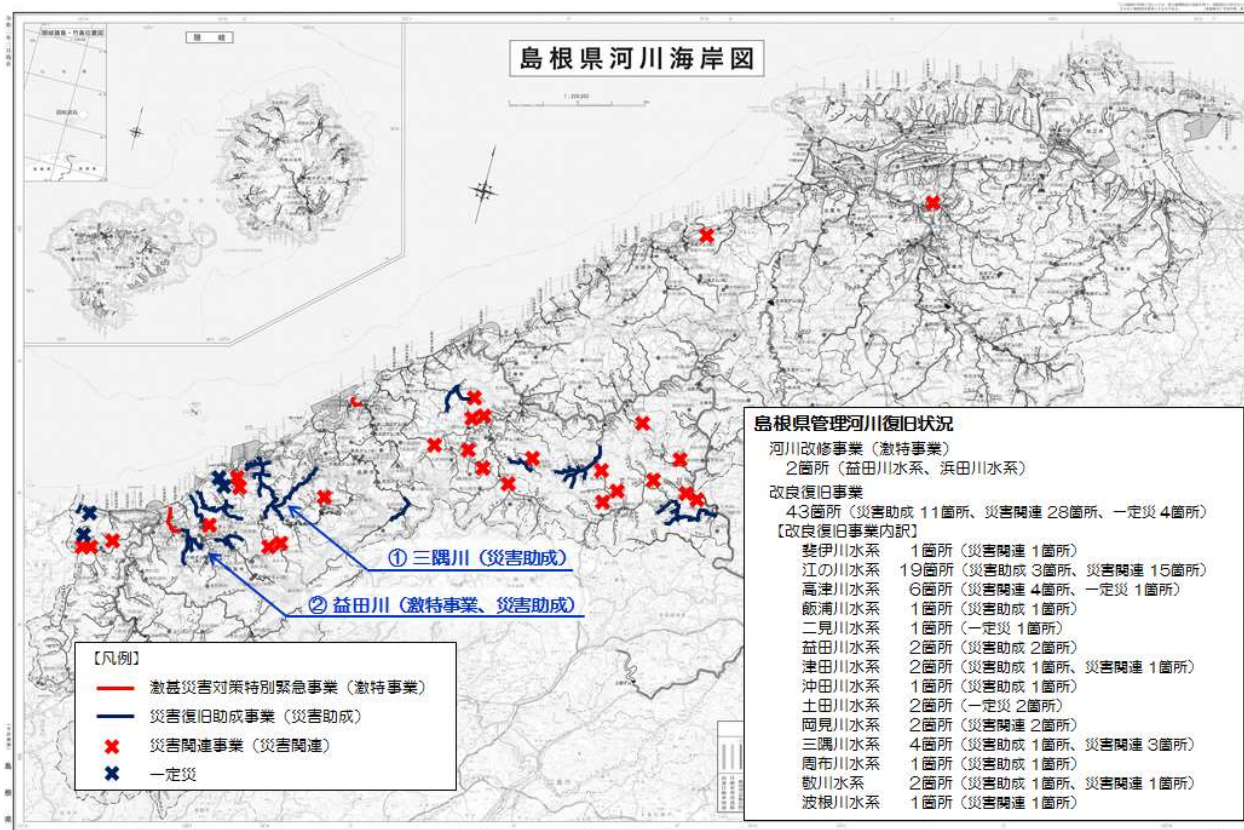
(1) 災害復旧事業の概要^{3) 4) 5)}

甚大な被害が発生した河川では、再度災害を防止するため、被災箇所と周辺の流下能力が不足する一連の区間の川幅の拡幅や、堤防の嵩上げを行うなどの施設機能の強化を図る改良復旧事業を 14 水系 43 箇所で行いました。また、益田川と浜田川では、改良復旧事業とは別に緊急的に治水対策を行うため、激甚災害特別緊急事業により河川改修を実施しました。



改良復旧のイメージ (河川)

今月号では、特に被害が大きかった三隅川と益田川の河川改修事業を紹介します。三隅川で実施した改良復旧事業は、過去最大の事業規模（令和 4 年（2022 年）時点）となっています。



島根県管理河川改良復旧等状況位置図

島根県における主な改良復旧事業^{※3}

	年災	事業名	事業費
1	昭和 58 年災	三隅川水系三隅川河川災害復旧助成事業	31,951 百万円
2	昭和 58 年災	江の川水系出羽川河川災害復旧助成事業	11,422 百万円
3	昭和 58 年災	益田川水系益田川（下流）河川災害復旧助成事業	11,254 百万円
4	昭和 58 年災	沖田川水系沖田川河川災害復旧助成事業	8,378 百万円
5	昭和 63 年災	下府川水系下府川河川災害復旧助成事業	8,303 百万円

※3 災害改良復旧事業総覧及び島根県資料による（昭和 18 年災～令和 3 年災）。

(2) 事業紹介① 三隅川^{1) 2) 5) 7)}

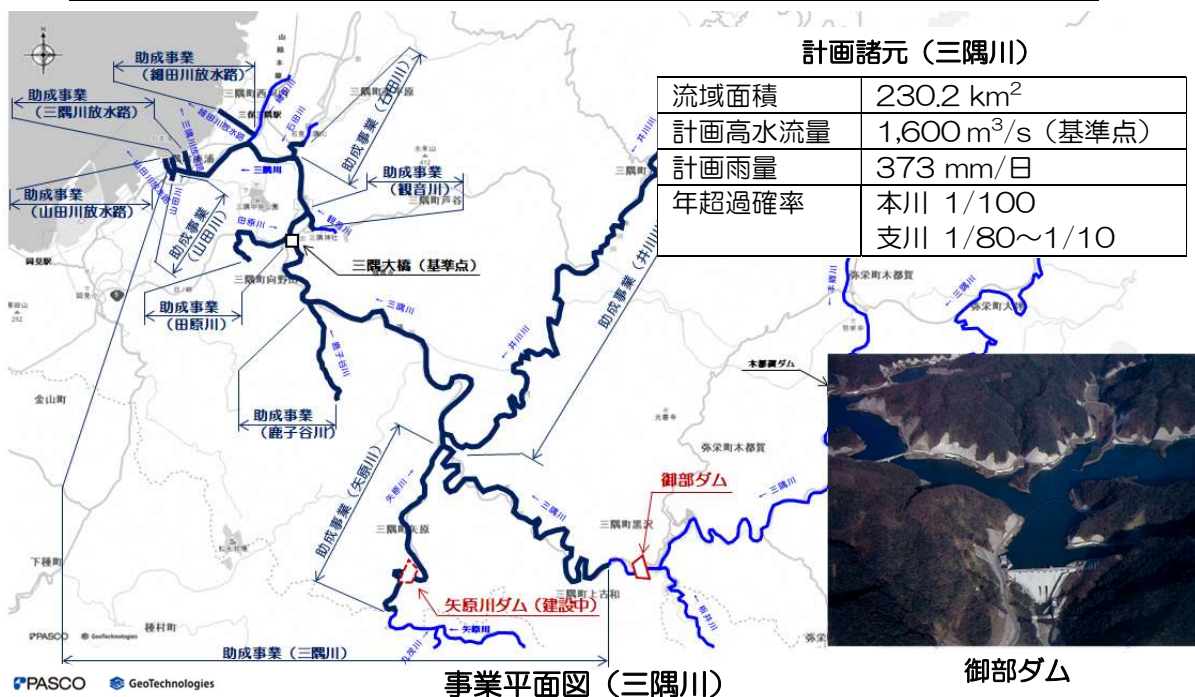
三隅観測所では、降り始めからの総雨量が737 mmに達し、22日には日雨量462 mmを観測しました。流域内の浜田市三隅町(旧三隅町)では河川の氾濫、堤防の決壊が相次ぎ、同町全体で人的被害66名(死者33人、重軽傷者33人)、住家被害1,872戸の甚大な被害となりました。特に同町全体で住宅に被害を受けた世帯は全世帯数の60%に及んでいます。

三隅川流域は壊滅的な被害となったことから、昭和58年7月豪雨と同規模の降雨での再度災害を防止するために、三隅大橋地点で基本高水のピーク流量を2,440 m³/s(年超過確率1/100)と定め、上流のダムに840 m³/sを洪水調節することにより、河道への配分流量(計画高水流量)を1,600 m³/sとする新たな水系一貫の治水計画を策定しました。

三隅川の河道整備は、災害復旧助成事業により実施し、平成元年(1989年)度に完了しました。また、上流の御部ダム^{おんべ}が平成2年(1990年)度に完成し、現在、残る矢原川ダム^{やばらがわ}の建設を行っています。

事業概要(三隅川)

事業名	三隅川水系三隅川河川災害復旧助成事業
事業費	31,951 百万円(災害費:10,619 百万円、助成費:21,332 百万円)
施工延長	37,413.5 m 三隅川、三隅川放水路、細田川放水路、石田川、観音川、田原川、鹿子谷川、井川川、矢原川、山田川、山田川放水路
事業年度	昭和58年度~平成元年度



被災状況(三隅川)



事業完了(三隅川)

(3) 事業紹介② 益田川^{1) 2) 8)}

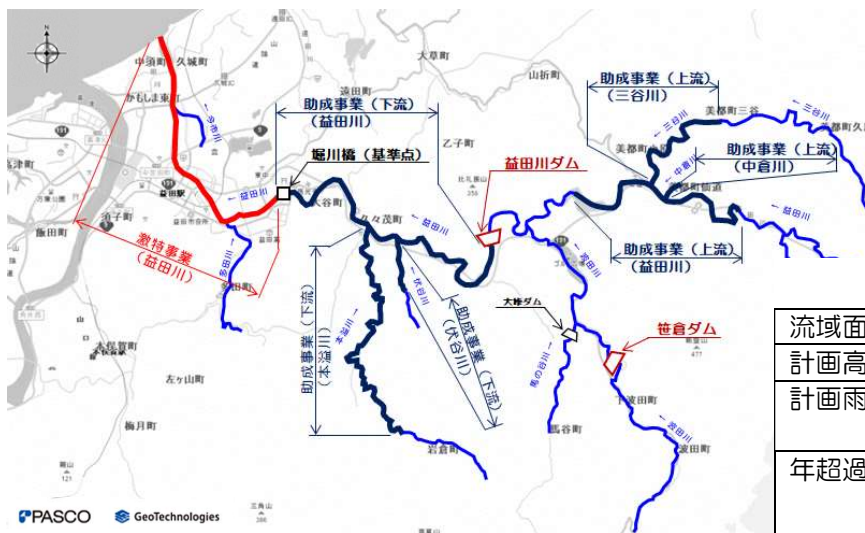
益田観測所では、降り始めからの総雨量が 633 mm に達し、22 日には日雨量 447 mm を観測しました。流域内の益田市（旧美都町及び旧八見町を除く）では河川の氾濫、堤防の決壊が相次ぎ、同市全体で人的被害 99 名（死者 31 人、重軽傷者 67 人）、住家被害 6,922 戸の甚大な被害となりました。

益田川流域は壊滅的な被害となったことから、昭和 58 年 7 月豪雨と同規模の降雨での再度災害を防止するために、堀川橋地点で基本高水のピーク流量を 1,230 m³/s（年超過確率 1/100）と定め、上流のダムに 330 m³/s を洪水調節することにより、河道への配分流量（計画高水流量）を 900 m³/s とする新たな水系一貫の治水計画を策定しました。

益田川の河道整備は、災害復旧助成事業及び激甚災害対策特別緊急事業により実施し、昭和 62 年（1987 年）度に完了しました。また、上流の益田川ダムが平成 17 年（2005 年）度に完成、笹倉ダム再開発が平成 18 年（2006 年）度に完成し、昭和 58 年 7 月豪雨に関する益田川の治水事業は全て完了しました。

事業概要（益田川）

事業名	益田川河川激甚災害対策特別緊急事業 益田川水系益田川（下流）河川災害復旧助成事業 益田川水系益田川（上流）河川災害復旧助成事業	
事業費	21,819 百万円	激特事業：6,400 百万円 助成事業（下流）：11,254 百万円（災害費：8,347 百万円、助成費：2,907 百万円） 助成事業（上流）：4,165 百万円（災害費：2,738 百万円、助成費：1,427 百万円）
施工延長	24,710m 益田川、本益川、伏谷川、三谷川、中倉川	
事業年度	昭和 58 年度～昭和 62 年度	



益田川ダム
計画諸元（益田川）

流域面積	126.7 km ²
計画高水流量	900 m ³ /s（基準点）
計画雨量	327 mm/日（下流） 311 mm/日（上流）
年超過確率	本川 1/100（下流） 1/80（上流） 支川 1/80～1/50

事業平面図（益田川）



被災状況（益田川）



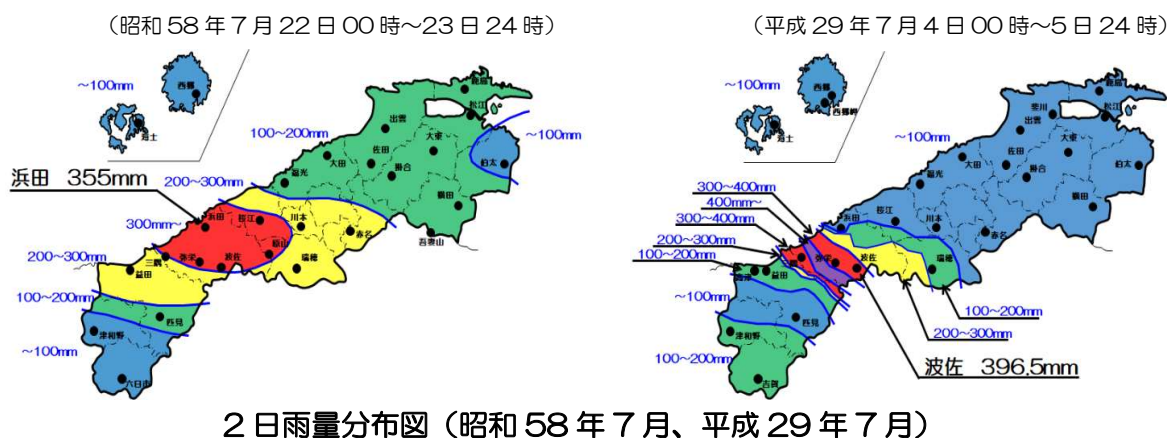
事業完了（益田川）

3. 治水効果（平成 29 年 7 月 4 日から 5 日にかけての大雨）^{1) 2) 3)}

梅雨前線の活動が活発となり、平成 29 年（2017 年）7 月 5 日未明に浜田市、益田市、邑南町、津和野町に県内初の「大雨特別警報」が発表されました。

この大雨により、県西部では総雨量 400 mm を超え、波佐観測所において 5 日 9 時 10 分までの 24 時間で 369.5 mm、5 日 2 時 45 分までの 1 時間で 82 mm の猛烈な雨となり、昭和 58 年 7 月豪雨に匹敵する雨量を観測しました。

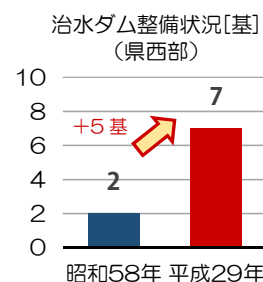
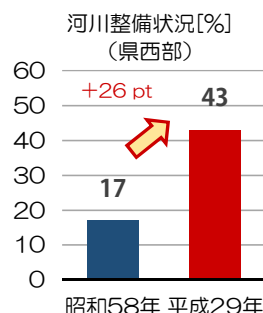
特に三隅川水系と周布川水系を中心に雨量を観測しましたが、昭和 58 年 7 月豪雨の被災を受けての河川改修が完了し、その後も河川や治水ダムの整備が進んだことにより、昭和 58 年 7 月豪雨に比べ大幅に被害が減少しました。



被災状況比較（昭和 58 年 7 月、平成 29 年 7 月）

項目	昭和 58 年 7 月豪雨	平成 29 年 7 月の大雨
雨量（2 日雨量）	355 mm（浜田）	396.5 mm（波佐）
雨量（時間雨量）	91 mm（浜田）	82 mm（波佐）
死者・行方不明者	107 名	0 人
重軽傷者	159 名	1 名
住家全壊・流出	1,064 棟	0 棟
住家半壊・一部破壊	2,540 棟	4 棟
床上浸水	6,953 棟	13 棟
床下浸水	7,043 棟	48 棟
県管理河川の被災箇所	3,565 箇所	89 箇所
県管理河川の被害額	約 445 億円	約 18 億円

河川・治水ダム整備により被害が大幅に減少



御部ダム（出水状況）



大長見ダム（出水状況）



三隅川放水路（河川整備状況）

4. 昭和 58 年豪雨に関するパネル展の開催

昭和 58 年 7 月豪雨災害、平成 30 年 7 月豪雨災害の被害等を後世に伝え、災害の記憶の風化を防ぐため、「昭和 58 年 7 月豪雨災害から 40 年、平成 30 年 7 月豪雨災害から 5 年」パネル展を国・県・関係市町で開催します。

開催日時、場所は次のとおりです。ぜひご来場ください。

～過去の豪雨災害を後世に伝え
災害の記憶の風化を防ぎます～



江の川（下流）・三隅川

期間	場所
7/24(月)～8/18(金)	島根県浜田合同庁舎 1F 県民室
8/16(水)～8/31(木)	江津市役所 1F 展示スペース
7/24(月)～8/18(金)	悠邑ふるさと会館 1F エントランス
7/24(月)～8/18(金)	みさと館 1F エントランス
7/24(月)～8/25(金)	邑南町役場 1F ロビー
7/24(月)～8/9(水)	浜田市役所 1F ロビー

高津川・益田川

期間	場所
7/24(月)～8/18(金)	島根県益田合同庁舎 1F ロビー
7/24(月)～8/20(日)	ゆめタウン益田 1F 催事場

5. これからの治水⁹⁾

昭和 58 年豪雨を契機とした河川改修事業を紹介しましたが、島根県では過去幾多の災害に遭ってきたことから、長年にわたり河川整備による治水対策に取り組んできました。

しかし、近年、気候変動の影響もあり、全国各地で今まで経験したことのないような大雨による水災害が発生していることから、これからの治水はこれまでの河川整備による治水対策を加速することに加え、まちづくりや農業分野と連携するなど流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で治水対策に取り組むことが求められています。こうした取り組みを「流域治水」といいます。

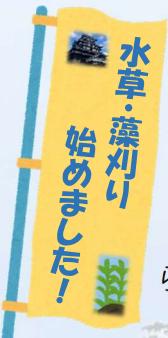
島根県では、「流域治水」を計画的に推進するため、流域の治水対策を「流域治水プロジェクト」として取りまとめました。県内の一級水系（斐伊川、江の川、高津川）は令和 3 年（2021 年）3 月 30 日に、二級水系（71 水系）は令和 4 年 3 月 11 日に流域治水プロジェクトを策定しています。

【流域治水プロジェクト】

斐伊川水系	https://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuikichisui/index.html
江の川水系	https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/river/initiative/project.html
高津川水系	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/takatugawa/takatu_ryuikichisui-index.html
二級水系	https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/hoshin/ryuikichisui/

参考文献

- 1) 島根県（1984）、『昭和 58 年 7 月豪雨災害の記録』
- 2) 島根県、『昭和 58 年 災害年報』https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/bosai_shiryo/saigainenpou.data/S58.pdf
- 3) 島根県、『平成 29 年 災害年報』https://www.pref.shimane.lg.jp/bousai_info/bousai/bousai/bosai_shiryo/saigainenpou.data/H29saigainenpou.pdf
- 4) 社団法人全国防災協会（1978）、『災害改良復旧事業総覧（第一版）』建設省河川局防災課監修
- 5) 社団法人全国防災協会（1988）、『災害改良復旧事業総覧（第二版）』建設省河川局防災課監修
- 6) 国土交通省、『災害復旧事業のすべて-改良復旧事業について』<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/hukkyu/index.html>
- 7) 島根県土木部浜田土木建築事務所（1989）、『昭和 58 年 7 月豪雨 三隅川水系河川災害復旧助成事業工事誌』
- 8) 島根県土木部益田土木建築事務所（1995）、『昭和 58 年 7 月豪雨 益田川水系河川災害復旧事業工事誌』
- 9) 国土交通省、『「流域治水」の基本的な考え方』https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/O1_kangaekata.pdf



水草・藻刈り 始めました! @松江堀川

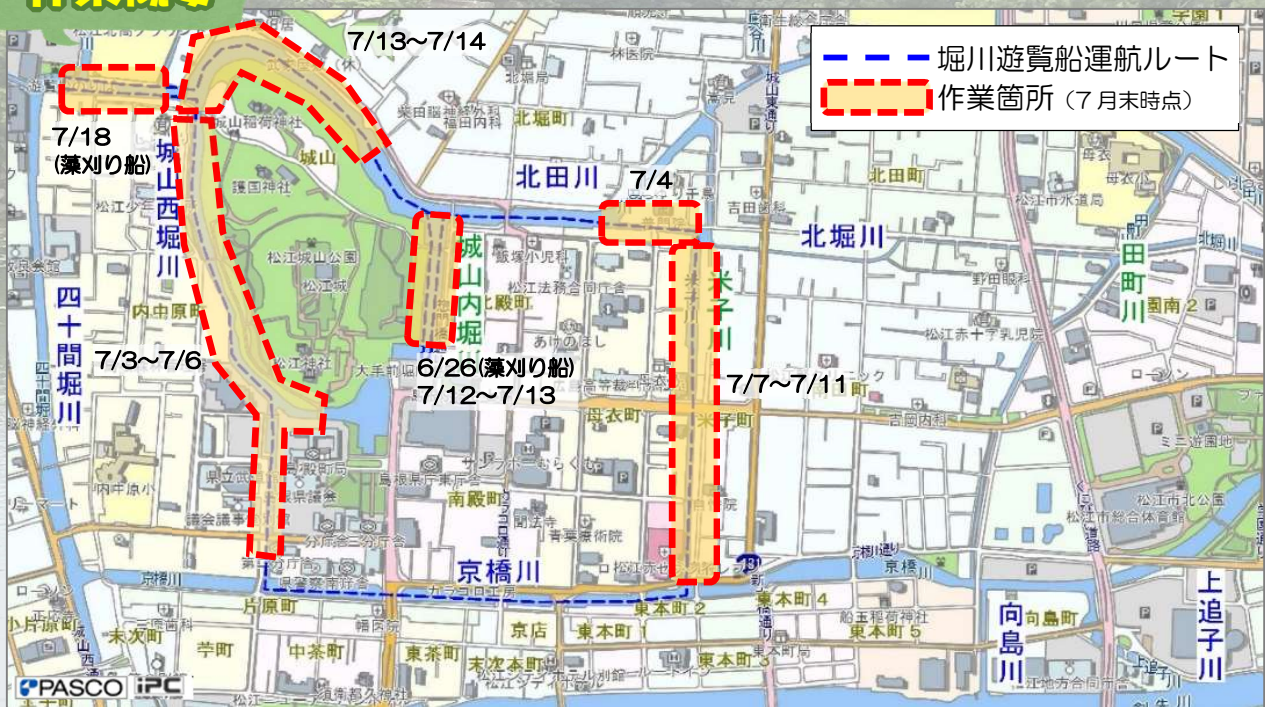
島根県河川課 企画調査係
松江市河川課 管理係

今年度も水草・藻の繁茂が確認され、生活環境等への影響が懸念されることから、6月26日から7月にかけて水草・藻の刈り取り作業を開始しました。



松江堀川とは、四十間堀川、京橋川、城山西堀川、北堀川、北田川、向島川、上追子川、田町川、米子川、城山内堀川の10河川の総称です。

作業概要



作業状況



一部区間では、松江市所有の「だんだん藻刈り丸」(藻刈り船)も活躍しました。

今後も、関係者の協力を得ながら、松江堀川の巡視を行い、必要に応じて、島根県と松江市の共同で適切に水草・藻の除去処理を行っていきます。

平田保育所で **防災** についての出前講座を実施しました

河川課 防災係

島根県河川課では、県民の皆さんに河川行政への理解を深めていただくため、ご要望に応じて職員が出向いて、お話や意見交換を行う「しまね出前講座」を実施しています。

河川課の仕事や川の恵み、大雨の怖さについて説明



令和5年(2023年)7月20日(木)に出雲市平田町の平田保育所で行われた河川の氾濫を想定した避難訓練にお招きいただき、園児と職員のみなさんに「洪水から身を守るために気をつけることは?」をテーマに学習会を行いました。

当日は、河川課職員による紙芝居を見てクイズに答えるなど、楽しみながら大雨や洪水時に注意することについて学んでいただきました。



河川の氾濫に備えた避難訓練を行いました



その後行われた避難訓練では、子ども達は学習会で学んだ「おはしも」を守って、真剣な表情で取り組んでいました。

おわりに、この学習会で学んだことが、少しでも子ども達の記憶に残り、もしもの時の安全な行動に繋がるきっかけになれば嬉しく思います。

ひなん するときの あにとほ 「おはしも」

おさない はしらない しゃべらない もどらない



出前講座のお申し込みは、本誌最後のページの URL または QR コードから！

海ごみについて出前講座を行いました！



廃棄物対策課 処理推進係

日本財団“海と日本 PROJECT”と環境省が共同で推進している「海ごみゼロウィーク」の活動に併せ、廃棄物対策課では、海ごみについて学んでもらうことを目的として、出前講座を実施しています。

令和5年（2023年）の海ごみゼロウィーク期間は、春季：5月27日（土）～6月11日（日）、秋季：9月16日（土）～9月24日（日）で、春季期間中から海開き前の7月にかけて、4団体に出席講座を行いました。

『海ごみ出前講座』の主な内容

- ・海ごみの実態、島根県の実態
- ・海ごみの発生経路
- ・海ごみが生物へ与える悪影響
- ・松江市古浦海水浴場の漂着物内訳
- ・マイクロプラスチック問題
- ・海ごみ問題解決策
- ・ワークシート記入、〇×クイズ
- ・海ごみ回収・分別体験
- ・海ごみに関する絵本読み聞かせ

etc

『令和5年（2023年）春季出席講座履歴』

- ・6月3日（土）
愛と地球と競売人自主企画実行委員会
- ・6月13日（火）浜田市立原井小学校
- ・7月1日（土）ガールスカウト島根県第3団
- ・7月6日（木）大社こどもランド保育園



出席講座の様子（絵本読み聞かせ）



出席講座の様子（講義）

海ごみで美しい海が消えてしまうのは遠い未来の話ではなく、私たちの子供や孫の世代に起こりうる問題です。出席講座は海ごみゼロウィーク期間外でも随時受け付けておりますので、以下のURLをご確認いただき、たくさんのご応募をお待ちしております。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/demae/R5kurashi.html>



皆さんも地域の海岸に目を向けて、海岸漂着ごみの実態を認識していただき、

- ①ごみの排出量を減らす
- ②ごみを分別する
- ③ポイ捨てはしない

の3つに取り組み、きれいな島根の海を守っていきましょう！！



第45回「全日本中学生水の作文コンクール」の結果について

河川課 管理係

私たちが生きていくうえで欠かせない「水」の貴重さ、重要性について理解を深めるため、国では毎年8月1日（水の日）から1週間を「水の週間」と定め、全国で様々な行事が催されています。この行事の一環として、次代を担う中学生を対象に、水について理解を深め、考える機会とする「全日本中学生水の作文コンクール」を実施しております。

河川と海岸だより6月号でも掲載しました、島根県中学生「水の作文コンクール」の入賞3作品を「全日本中学生水の作文コンクール」に推薦したところ、下記のとおり受賞が決定しました！

【入選】

湖南中学校 3年 ^{たかくさき}高草木 ^{はるか}晴香 さん

「天の川のような」

【佳作】

開星中学校 3年 ^{のつ}野津 ^{ひびき}日々輝 さん

僕の好きな中海

開星中学校 3年 ^{のつ}野津 ^{いっき}一輝 さん

奥大山の水の秘密



水は、海から蒸発し、雨となって地上に降り、川を流れ、地下にしみこみ、また蒸発して永遠の循環を繰り返しています。その中で私たちは、本当に様々な場面で水の恩恵を受けています。

この水の作文コンクールを通して、改めて「水」について考える機会となれば幸いです。次年度も、一人でも多くの中学生の皆さんのご応募をお待ちしております！

※今年度の島根県中学生水の作文コンクール受賞作品は、島根県土木部河川課 Web サイトに掲載しています！

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/contest/dai45mizunosakubunsinnsakekka.html>



※今年度の全日本中学生水の作文コンクール受賞作品は、国土交通省水資源部の Web サイトに掲載しています！

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000010.html



【編集後記】 河川課 企画調査係 奥野課長補佐

40年前の7月に発生した大水害は、死者行方不明者 107 名、家屋の全壊半壊約 3,000 棟、山腹崩壊、道路や鉄道の途絶等々、県西部を中心に壊滅的な被害をもたらしました。本年は昭和 58 年 7 月豪雨から 40 年の節目となります。これまで、多くの方々のご尽力により復旧・復興が果たされ、各種の防災対策も着実に進んで来ました。

その一方、年月の経過に伴い、豪雨災害の記憶が薄れ、災害そのものを経験していない世代も増えています。今月は、『昭和 58 年 7 月豪雨から 40 年』と題して当時の被災状況や復旧状況、パネル展の開催等について紹介しました。気候変動による水害の頻発化・激甚化が指摘される中、水害をより身近なものと感じてもらおうきっかけになればと思います。

島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課 Web サイトにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下の Web サイトから申し込みますのでこちらをご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査係

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681 mail : kasen@pref.shimane.lg.jp



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だより Web サイト

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



出前講座申し込み Web サイト

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/demae/shimanedemaekouza/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC 版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマホ URL : <https://www.suibou-shimane.jp/s>

携帯版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/m>



川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通 URL : <https://k.river.go.jp/>



建設業の魅力を Facebook、Twitter、Instagram で発信しています。

「建設業魅力発信しまね」公式 SNS

